

つばめ会会報

“Slope” #24



<目次>

タイトル	氏名	ページ
幹事長の言葉	田中 淳一（23期）	2
会長の言葉	浅野 昭（12期）	3
部長の言葉	御崎 智之（29期）	4
コーチの言葉	小山 温史（27期）	5
つばめ杯の感想 ～もう「メタボオヤジ」とは呼ばせない？～	奥田 健史（16期）	7
第20回東工大 OLT 杯運営報告	村上 巧（27期）	10
世界大学選手権報告 16th World University Orienteering Championship	小山 温史（27期）	11
近況報告	木平 孝和（25期）	14
つばめ会 平成20年度活動報告	田中 淳一（23期）	17
ML・ホームページについて		18
インカレロング応援広告		18
編集後記		19

写真提供：小山温史（27期）

幹事長の言葉

つばめ会 幹事長
田中 淳一（23期）

季節は早いもので、ついこの間正月かと思えば、もう初雪が降る季節となりました。雪というと、自分が3年のときのインカレショートを思い出します。確か11月上旬に長野県の菅平高原で行われたのですが、テラインが完全にホワイトアウトしてました。雪の中でのオリエンはまた普段と違って、気持ちよかったのを覚えています。埼玉出身なので、あまり雪というものに触れて育たなかったもので、雪を見るだけで結構テンションが上がるんですね。でも、ゴールしたあとは足が冷えて冷えてしかたなかったですけど。

最近ではオリエンからは離れ気味ですが、雪好きなのは変わらずで、スノーボードなるものに興じています。最初は、板に両足固定されて、こんなので滑れるのかとか、転んで頭撃って天に召されるのではないかと色々心配しました。でも、慣れてきて転ばずに滑れるようになってくると意外と楽しくなってきた、ネガティブなことは忘れて滑っています。もし、やったことないって人は是非一度やってみてください。下っていただけなので、それほど疲れませんし、ほどほどに運動不足解消にもなります。

さて、またオリエンの話に戻りますが、先日 OLT 杯にお邪魔してきました。場所は青梅のほうで、昔の草花丘陵という名前のテラインです。新歓で毎年のように使い倒したテラインなので、現役を退いた後4年半経ちますが、地形とか人工特徴物とか覚えているもんです。でも、結果は奮わず... 体力が落ちまくってました。登りは走ることができず、平地ですら、てるてる走る感じでしか頑張れなかったです。人間こうも体力が落ちるのかと。つばめ杯クラスのトップに10分差とは、ちょっと凹みました。やっぱり適度な運動は必要ですね。

OLT 杯にお邪魔する楽しみとして、久しぶりにオリエンをするってのもあるんですが、同期や先輩方、後輩たち、いろんな人に会えることが私の場合はあります。現役時代にコーチとしてお世話になった方や、一緒に部活を頑張った方など、久しぶりに会って話ができるのは楽しいものです。来年もきっと実施されると思いますので、つばめ会会員の皆様も是非ご参加いただければと思います。

OLT 杯では現役とも話す機会があって、少し話をしたのですが、聞いてみれば、今年の1年生31期だそうです。歴史を感じましたね。少子化が進み、他大では消えていくオリエンテーリング部があるなかで、東工大オリエンテーリング部は30期以上の代の人間が関わってきて、今もなお勢いがあるのがすごいなって思います。今年も10人ほどの新生が入ったと聞きます。これからもずっと続いていってくれればなと思います。

最後に、幹事長となって1年が経ちました。いろいろと至らない点があったかと思えます。申し訳ありません。あと1年任期がありますので、この1年で少しでもつばめ会の力になれたらと思っています。あと1年間よろしく願いいたします。

会長の言葉

浅野 昭（12期）

わたしが会長を仰せつかったのは2005年の秋ですので、もうすぐ3年が経とうとしています。で、半年に一度、ここの文章を書く機会をいただいておりますが、毎回、半年間のつばめ会&OLTの出来事を思い出して、そこからインスピレーションしたことを元にして書いております。

そして、毎年インカレではOLTは有力選手が出場し、毎年、熱い戦いを見せてもらっています。その他にもOLT杯の開催、国際大会への出場、つばめ会会員の全日本やクラブカップなどの好成績が毎年のようにあるので、ついつい他の出来事はないか、と探してしまいます。

が、ふと気がつきました。同じ事を継続することが最も大切であり、困難であることが。

言い尽くされたことですが、OL界の縮小傾向は未だにとどまることはありません。地図作製技術や大会運営技術の向上・進歩は目を見張るものがありますが、肝心のオリエンティアがいなくなってしまうと、元も子もありません。

このつばめ会においても、できる限りの現役支援策を取らせていただいておりますが、そもそもOLT現役のみなさんの努力もあって、毎年、新入生が入っているからこそ、OLT&つばめ会が続けていけるわけです。

（みなさんも、昔のことを思い出せば、わかりますよね）

ちなみに来年春のインカレは3月20～22日の3連休に神奈川県南足柄市で開催され、しかも全日本大会との共催だそうです。ふだんから大会に参加されている方はもちろんのこと、そうとうご無沙汰している方も、ぜひ参加・応援に来て頂ければうれしく思います。。

最後に私事で恐縮ですが、わたしの結婚に際し祝電を頂きまして、ありがとうございました。OL人口を一人でも増やそうと、現在努力中(?)ですので、温かく見守って頂ければ幸いです。

部長の言葉

御崎 智之（29期）

イチョウの葉の色が変わり始めた今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。長かった夏休みもついに終わり、今年度も残り半分となってしまいましたが、相変わらず、大会や練習会に忙しい日々を過ごしています。

さっそくですが、このところの近況について紹介させていただきたいと思います。

まず、今年度最大の出来事として、今年の新歓の結果ついに3人目の女子部員が加入しました。この結果、インカレリレーにおいてOLT史上初(?)の女子チームの出場が可能になりました。他大の女子部員の人数が伸び悩んでいるなか、このことは本当にすごいことだと思います。

また、今年の新歓において、31期となる1年生が13人加入しました。この13人と言う数も、ここ数年にはなかった人数だと思われ、大変うれしいことです。また1年生はオリエンや飲み会などのイベント事にも参加率が高く、先日行われた工大祭でも楽しそうな姿を見せてくれたのが印象的でした。

上級生はというと、相変わらずといった感じです。2年生の大会参加率があまり高くないのが少し心配であります。とはいえ積極的にトレーニングやオリエンテーリングに励んでいる2年生も多いので、過度な心配は無用であると思います。そして我々3年生は、中心となる学年らしく、トレーニング量や大会参加率は他の学年に比べて格段に高い気がします。しかし、運営面に関してはまだまだ改善の余地ありと言う感じで、今後の半年間ではより一層頑張りたいと思います。また4年生も忙しいにも関わらず大会などにはたくさん参加してくれてとてもうれしいです。こういう姿が後輩達の励みになることだと思います。

さて、もうすぐ始まるインカレロングやミドルセレに向けて、今は部員一同頑張っています。これからもインカレなどでいい結果を残し、また、楽しくオリエンテーリングができればいいなと思います。最後になりましたが、コーチを始めとしてOBの方々には、練習会や合宿に来て指導していただき、本当にありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

コーチの言葉

小山 温史 (27 期)

今年度のコーチは全員 27 期で、私、比嘉、村上巧、村上一輝と 4 人体制になっています。私がヘッドコーチを務めています。

今年度半期にわたりコーチをしてきましたが、コーチとして関わった行事は以下です。

- ・ロングセレ@日光和泉(栃木県日光市)
- ・秋合宿@八ヶ岳(八ヶ岳レジャーセンター周辺)
- ・インカレロング@作手高里清岳(愛知県新城市)

このほかにも練習会などいくつかの行事のフォローもしています。今年度は練習会や合宿もただメニューをこなすだけでなく、ちゃんと意味のある練習をきちっとやることをコンセプトになっています。なるべく人と回ってお互いの良いこと悪いところを見つけるなど練習らしい練習になるように努力をしています。

以上のうちインカレロングについて。今年は 11 月の 2 日に行われました。愛知県新城市は 2005 年に世界選手権が行われた場所で起伏が激しくとてもタフな山です。その中で今回は世界選手権のリザーブテラインに指定されていた所で、とても良いテラインでした。選手権クラスには男子が柴本、斉田、武藤(共に 4 年)、高野(2 年)の 4 人出場。女子は残念ながら出場することは出来ませんでした。初出場で最後のインカレロングである斉田と武藤は悲しいことにペナになってしまいました。シードと期待された柴本は 20 位、まだ若い高野は 55 位とふるいませんでした。一方で、男子新人クラスは保川が優勝、楠が 3 位、女子は田村が優勝しました！新人クラスでアベック優勝です。もともと実力があって期待されていたのですが、結果をきちっと残せるとはとても素晴らしいです。とても興奮させられました。他の参加した人たちも実力がついてきたことを実感できたようでとてもいいインカレになりました。応援に来てくれた方々ありがとうございました。

さて、最近の OLT の現状についてです。自分は飲み会だけに限らず、OB になっても水曜練習やランニングにまで参加してしまっていて何も変わってません(笑)

今年度はたくさんの 1 年生(12 人)が入ってくれてとても活気づいています。オリエンテーリングの方もとてもやる気があり、個人的にジョギングに行ってくれる人もいます。女子も 3 人になり、初?のインカレリレー出場も楽しみです！そのおかげか運営期のおかげかとても全体の雰囲気がよくやっているように見えます。飲み会も多いですし。残りの半年も息切れせず、このままやってくればなと思います。

これからですが、11月下旬にミドルセレが控えています。今年の目標はミドルセレ通過です。去年の17人を超えられればと思っています。もう一つ、リレーは入賞が目標です。自分がかねえられなかった念願をコーチとして現役と一緒に果たしたいです。最後に、今年は冬合宿がないようです。例年やっていたので残念ですが、代わりに練習会をやるそうなので技術を磨くことができるよう頑張っていきます。

これからもすばらしいOLTになるようコーチ一同頑張っていきます。
また、OLTへご指導、ご声援をよろしくお願いします。

つばめ杯の感想 ～もう「メタボオヤジ」とは呼ばせない？～

奥田 健史（16期）

●「おっさん」が取り戻したつばめ杯

先日の東工大 OLT 杯で私は 34 歳 9 か月にして、つばめ杯を取り戻すことができました。OL 年齢は既に 35 歳ですので、CC7 では制限選手、全日本リレーではシニアクラス、普段の大会でも M35A に出場できる「おっさん」です。

今回で 13 回目のつばめ杯になりましたが、これまでの「最年長優勝」は 6 年前の私（28 歳 9 か月）でしたので、大幅に記録を更新したことになります（「最長間隔優勝」と「初の既婚者優勝」のおまけもつきました）。

つばめ杯は昔からの仲間でありライバルである OLT の先輩・同期・後輩と対決できる貴重な機会ですので、毎年「成績に拘る唯一の大会」として楽しみにしてきました。この 6 年間、もう一度つばめ杯を取り戻したいと思ってきましたが、2 位→2 位→(F クラスに出場)→2 位→3 位と、あと一步の結果が続いていましたので、今回の優勝は大変嬉しいです。

●勝利を呼んだプラス思考

今回のつばめ杯の参加者は 10 名、しかも菊澤君や村上君など最近の優勝者もいましたので、自分が大本命と言い切れるほどの自信はありませんでした。ただ、1 週間前の全日本リレー千葉県代表選考会（いばらき大会）で想定外のトップ通過を果たしたこと、しかも「菅生丘陵」（旧「草花丘陵」）は学生時代から比較的得意なトレインであることから、「自分にも十分に優勝のチャンスがある」と思っていました。

レースでは 1 番と 9 番のアタックでヒヤリとする場面もありましたが（両方ともちょうどコントロールに他の選手がいて助かりました）前日に過去の「菅生丘陵」の地図を見直したおかげでほぼ「イメージ通り」（これで負けたら仕方ない）と思えるベストレースをすることができました。

Lap Center を見るとラップタイムは 12 レッグ中 9 レッグで 2 位、巡航速度も 2 位でしたが、ミス率が 4.1% でした。こんなミス率が低いレースはたぶん初めてですが、これは体力が復活したことによって集中力も最後まで続くようになったためと思います。

●メタボにならなければ「おっさん」でも OL を楽しめる

結婚直後の 2006 年 1 月、私の体重は 84.2kg に達していました。この頃は健康診断（血液検査）の結果も悪く、完全な「メタボオヤジ」になっていました。オリエンテーリングもスプリントすら走りきることができず、「苦行」以外の何者でもありませんでした。

「どげんとせんといかん」と思った私は、普通の人 150% 以上食べていた食生活を見直すことにしました。また、1～2 階分ならエスカレーターではなく階段を使うなど、「微々たる習慣の積み重ね」を心がけるようにしました。

その結果、現在は 73.8kg にまで体重が減少し（76kg 前後だった学生時代よりも少ない！）

健康診断の結果も大きく改善しました。「このダイエットの陰には凄まじい努力があった」と書けばカッコイイのかもしれませんが、トレーニングについては週末にちょっと走るだけ（最近の走行距離は7月：35km、8月：60km、9月：24km）でしたし、厳しい食事制限をしたわけでもありません（今でも普通の人の120%ぐらいは食べますし、大好きな肉や揚げ物もあまり我慢していません）

この数年間を通じて、

- ・オリエンテーリングを楽しむためには（成績に拘らなくても）最低限の体力は必要（最低限の体力がなければ、ただの「苦行」になってしまう）
- ・エリート選手はともかく私ぐらいのレベルなら、「体重」さえ管理できれば「年齢」や「トレーニング不足」による体力の衰えは十分にカバーできる
- ・体重を管理するためには、食生活をちょっと見直すだけでも大きな効果がある（普通のサラリーマンにとっては、厳しいトレーニングや食事制限は長続きしない）

と感じました。「オリエンテーリングを楽しむ」ことを目標に体重を管理すれば、結果として「健康」にもつながりますので、一石二鳥だと思います。

●長年待ち望んでいた「飯村杯」の復活

今回の OLT 杯では7年ぶりに「飯村杯」が復活しました。飯村さんの偉大さを知る私としては、「伝説の OG」として名前が再び語り継がれたことも嬉しいです。来年は史上最多の3人で飯村杯を争うことになると思いますが、来年以降も女子部員が増え、未永く飯村杯が続いていくことを願っています（二度と途切れないように…）。

●全日本リレー、そしてその先へ

今後については、まずは千葉県代表選手（シニア選手権クラス）として出場する12月7日の全日本リレーが目標になるでしょう。今回は千葉県代表選手団の監督も兼ねることになったうえ、11月22・23日の全日本スプリント兼インカレスプリントの運営も控えています。選手・監督・運営いずれについても「こんなチャンスは二度とない」かもしれませんので、できる限りのことはやりたいと思っています。

来年の OLT 杯については、「つばめ杯で再び若手 OB に対する『壁』となる」、「OLT 杯と同じコースで現役学生を『逆格付け』する」、「運営の『スーパーサブ』として暗躍する」など様々な「野望」が考えられますが、いずれにせよ OLT 杯を盛り上げるとともに、自分自身も楽しみたいと考えています。

そして「究極の目標」は、2043年度（35年後）の全日本大会の M70A クラス（最年長クラス）で優勝することです。これは、35年後も日本でオリエンテーリングが滅亡しておらず、自分自身も70歳までオリエンテーリングを続けられるだけの「健康」・「時間」・「金銭」・「人間関係」に恵まれていることになりますので、きっと幸せだろうと思います（この意味では「参加」するだけでも意義があるのですが、どうせなら「全日本大会最年長優勝者」になるのも楽しそうかな、と）。

●つばめ会・OLTの皆さんへ

今回は例年以上に多くのOBの皆さんにお会いすることができ、嬉しかったです。OLT杯はOB・OG間さらに現役とOB・OG間の交流を深められる貴重な機会ですので、今後もぜひ参加して頂ければ幸いです。

つばめ会・OLTの皆さん、表彰式でも申し上げましたが、今回の「つばめ杯最年長優勝」の記録更新を目指してみませんか？その結果、今後も末永くつばめ杯で皆さんとお会いできるきっかけになれば、今回の優勝はこの上ない喜びです。

最後になりますが、27期の皆さん、楽しいOLT杯を開催して頂きましてありがとうございました（クラス名の「マイルド」とは賞品のことだったのですね）。多少のハプニングもあったようですが、少人数にもかかわらず「日本最大の会内杯」にふさわしい運営だったと思います。

これからもずっとOLT杯を楽しみにしています。

【付録】つばめ杯歴代入賞者

（http://www.geocities.co.jp/Athlete/4476/database/OLTcup_winprize.htmlを加筆修正）

回数	開催日	テレイン	優勝	準優勝	3位
8	1996.6.30	菜の花台	太田宏樹(14期)	渡辺純(12期)	佐々木順(コーチ)
9	1997.6.29	両総用水'97	根本農史(15期)	渡辺純(12期)	川合勝久(11期)
10	1998.6.28	南高麗赤根峠	太田宏樹(14期)	渡辺純(12期)	根本農史(15期)
11	1999.7.4	高麗日和田山	太田宏樹(14期)	川合勝久(11期)	渡辺純(12期)
12	2000.7.2	乙女道路	松澤俊行(コーチ)	川合勝久(11期)	和田雄一郎(16期)
13	2001.7.1	日光口磐裂の霊水	円井基史(19期)	太田宏樹(14期)	當銘直告(18期)
14	2002.10.6	片葉の芦	奥田健史(16期)	倉澤勝美(20期)	和田雄一郎(16期)
15	2003.12.7	木葉下2000	仁多見剛(20期)	奥田健史(16期)	和田雄一郎(16期)
16	2004.10.10	四番金昌寺	仁多見剛(20期)	奥田健史(16期)	
17	2005.10.2	菜の花台	菊澤恵三(22期)	和田雄一郎(16期)	小坂猛(16期)
18	2006.10.14	瑞牆の森	徳江勇樹(23期)	奥田健史(16期)	田中淳一(23期)
19	2007.9.30	宇根峠	村上諒一(25期)	和田雄一郎(16期)	奥田健史(16期)
20	2008.10.5	菅生丘陵	奥田健史(16期)	菊澤恵三(22期)	村上諒一(25期)

以上

第 20 回東工大 OLT 杯運営報告

実行委員長
村上 巧 (27 期)

2008 年 10 月 5 日、第 20 回東工大 OLT 杯が開催されました。トレインは菅生丘陵 (旧草花丘陵)、コースはレジェンド (OLT 杯)、マイルド (つばめ杯、飯村杯)、ミドリ (新人男子)、アオ (新人女子) の 4 クラスで、外部参加者も含めて約 140 人ものオリエンティアに参加していただき、レース自体は無事に成立し、成功を収める事ができました。

しかしながら本大会は数多くの反省点が見られました。当日申し込み者のあまりの多さに混乱し、一部の OB の参加者には運営を手伝わせてしまったこと、また参加者数が購入した地図の枚数を超えてしまい、一部の参加者にはカラーコピーで出走させてしまったり、希望クラスとは異なる地図を配布してしまうなどの、大会においてあるまじき事態も発生してしまいました。参加者という立場であるのに不必要な負担を強いてしまった OB の方々、また、余計な心配をかけてしまった方々には再度この場を借りてお詫びしたいと思います。本当に申し訳ありませんでした。

私は運営に関する知識や技術はほとんどなく、最初は手探りのような感じで運営を進めておりました。正直、大会が終わるまでの数ヶ月間は恐怖と不安につきまといわれる日々が続きました。しかし、27 期のみんながそれぞれの仕事を 1 つ 1 つ全うして行く中で、大会が徐々に形作られ、また OB の方々からも多くのアドバイスを頂き、OLT 杯の成功を確信するようになっていきました。27 期全員で、大会運営という大きな仕事を成し遂げられたことは何にも代え難い大きな財産であると思うし、また東工大 OLT に対しての恩返しでもあるとおもいます。

東工大 OLT 杯は、ただの会内杯ではなく、それ以上の意味を持つ大会であるとおもいます。これだけ多くの方々に参加していただいている会内杯は東工大 OLT 杯の他には無いのではないのでしょうか。今後も、この東工大 OLT 杯を大切にしていって行くべきであると思うし、来年運営する方々には、今年度の反省を生かしてよりよい大会を開いてほしいと思います。

最後になりましたが、賞品提供や運営に関して数多くのアドバイスを下さった OB のみなさん、そして参加者のみなさん、東京都協会の方々や地元のみなさん、そしてなによりも大学院生活で忙しいながらも最後まで運営者として一生懸命仕事をしてくれた 27 期の皆さんに、改めて感謝したいと思います。ほんとうにありがとうございました。今後も、東工大 OLT 杯をよろしく願いいたします。

世界大学選手権報告

16th World University Orienteering Championship

小山 温史 (27期)

ご声援・応援ありがとうございました。

2008年4月に行われた国内選考会を通過し、7月末に行われた世界大学選手権に日本代表として参加してきました。種目はロング、ミドル、リレーと3種目に出させてもらいました。つばめ会の皆様には多大なるご支援を頂き、とても感謝しております。競技自体の結果・内容は共に納得いくものではありませんでした。4月に負った大きな怪我を考えると、思えば仕方なかったものかもしれません。しかし、海外の大舞台を経験してこれからの取り組み方を含め得るものはとても多くありました。まだまだ自分自身やれることがたくさんあると思うのでつばめ会の皆さんへご恩を返すためにも頑張っていきたいと思います。OLTの後輩たちも是非これからどんどん上を世界を目指して行って欲しいです。

昨年2007年も夏に海外遠征をしたので今回の遠征は2回目の海外遠征となりました。前回はチェコ、ウクライナ、スロバキアと東欧の国でオリエンテーリングをしました。この時も日本と全く違った地形とマップに大興奮だったのでした。今回もそれとはまったく違ったもので、とてもエンジョイできました。

ユニバー終了後、トータス大会運営のために調査漬けの生活。その後体調崩したりでなかなかうまくトレーニングできませんでした。11月に入りやっとトレーニング再開しました。さっさと体力を戻して頑張ります！！

OLT関係の目標は関東リレーかなと思っています。OBでも競技的に続けている前田さんや円井さん、同期の村上巧などの方々と走れば上位も狙えるかなと楽しみにしています。

レース結果

ロング：オーバータイム(競技時間の3時間をオーバーしました)

ミドル：1時間5分33秒で83位(日本男子ではトップ)

リレー：20位(高橋→日下→藤沼→小山)

以下はMLにも流したのですが、修正してスロープにも残したいと思います。

最初にスウェーデンに入って、オーリンゲンに3日間参加。

その後、エストニアのpolvaに移動してトレーニングキャンプ。

本戦はエストニア第二の都市タルトゥへ移動して行われました。

スウェーデンでのオリエンテーリングは細かい地形でなかなか読めずなかなかうまくできませんでしたが、徐々に慣れてできるようになりました。

いざ、エストニアに移動するとスウェーデンに比べて細かい地図。

見た瞬間はこんな簡単じゃんと思いましたが、いざやってみると植生のせいなかなかうまくできません。

トレーニングキャンプでは午前午後で2パートに分かれていて、午前2時間ほど山に入って、一旦宿に戻って寝て、午後にもう一度山に入るというものでした。

しかし、与えられた地図が、本戦ではコンタ間隔5mなのにも関わらず、すべて2.5mという謎の仕様。しかも1:15000で与えられた地図が実は1:10000だったり本戦とは違う設定が多いというような内容でした。

でも、2回に分けて行うトレーニングはすごい効果的だと感じました。

海外では当たり前なのですが。

ロング

途中で2分後の人にバックしたのですが、ちぎられてその後方向が間違っていたのかあらぬ方向へ。そのままマップアウトして、まったくわからなくなりました。

リロケートを試みるがうまくいかず、現在地ロスト。完璧な現在地ロストは中学生ぶりでしょうか。

目標にしていたロングなだけに、余計パニックになったってのもあります。

気付けばスタートエリア近くに。

もうレースとしては全然成り立ってないので中間ビジュアルで棄権しようか悩み始めるという有り様。

そこからもうOLが出来ない状態でしたが、棄権せずにとりあえず回りました。

その結果、周りきりましたが制限時間オーバーになってしまいました。

せっかく来たのにこんな結果残せず辛く申し訳なかったです。

ミドル

大きくミスを何度も立て続けに続ける。

これもアタックポイントまで行けるんですが、その後にショートしてしまうことが多くなかなか修正できませんでした。

バックで海外勢のOLの速さに驚かされつつ回ってきました。

完走すると日本人では一番成績がよくてびっくりさせられました。

それぐらい多くつぼり、みなもつぼってしまったようです。

リレー

自分にタッチするまで日本にしてはなかなかの良いレースをしていました。

これよりいいレースは日本勢の現状の技術力と体力では無理でしょう。

ライバルとしていたポルトガルに3走の藤沼さんが追いつき、ほぼ同時に4走の自分にタッチ。あわてないつもりが、あわてていたのか1ポ2ポで大きくミス。この後、ここではOLがうまくできないということであきらめて道メインで行くことに。これは日下の「できないものはできない」という言葉を思い出したことにより選択することができました。このあとリズムを取り戻し、1つ軽くミスりましたがうまく回れました。最初のミス分みんなより遅くなってしまいました。順位には影響ありませんでしたが、遅くて残念でした。

全体を通して。

植生が八ヶ岳のように藪い。つまり通れるのですが、視界が非常に悪い。また、まっすぐ進むことができないというようなものでした。

それなのに、日本と違って地形が少ないので現在地や方向がすぐに分からなくなってしまうというものでした。

そこにきちっと気付いたのですが、できないものはできなくうまく回ることが来ませんでした。世界のレベルの高さを実感するとともに、自分の基礎技術能力の低さも実感しました。

走力うんぬん以前に、OLをしっかりとするのが出来ず、歯が立たなかったのが悔しかったです。しかし、メンバーにも恵まれ楽しい遠征にすることが出来ました。

メンバーには本当に感謝してもしたりません。

もうこういったメンバーで遠征することはかなわないと思うと残念です。

OLTから海外へ飛び出す選手がまた現れるのを楽しみにしています。



近況報告

木平 孝和 (25 期)

近況報告をよろしく、と伸介氏に言われてしまったので。近頃の様子を軽く書いていきたいと思えます。内容としてはあんまりネタがないので4月からいままでをダイジェスト風味で振り返っていきたいかなあ、と思えます。知っている人は知っていると思えますが、非常に冗長でまとまりがないのでサクッと無視してくれて構いません。てか、個人的に聞いてくれれば話しますし。

● 新社会人研修編

4月にとうとう社会人になった訳ですが、何も変わりません。新人研修受けていただけです。社会人なめんな的な講習や、会社の基礎知識のようなことの講習や、愛社精神を育みたいんだろいうなあ、というような各種研修を受けていました。正直同期の人たちと感じたのは人事部の自己愛じゃないか？という疑問でした。まあ、そんなのどこも一緒ですよ。

そんな研修の中で一番為になったのは営業・製造実習という表立って人事が関与していない研修が一番為になる不思議を体験しました。営業はみんながそれぞれどこかの営業所にぶっとびその場で活動するというなかなか厳しいものでした。何が厳しいかというと、直前の営業用の研修が全く、何にも、かすりもせず、役に立たない！！試しに行った先の先輩に内容話すと笑いがとれる。宴会ネタですか？もう突撃お宅の印刷機！はしたくありません。無理です。地元でやらされたし、生活圏の侵害ですよ。びっくりです。

そして、製造のほうはホントに製造でした。3交代です。ガチです。クリーンルームという人外魔境で労働です。舐めてました。きつかった。ホントにきつかった。何度体調きついたので休みを、と言おうと思ったか……。でも、現場はやばい、消える人いるしね、てか、うちのチームで消えたしね。しかも、製造実習の最後の発表やらされました。夕勤明け直後に……。目が赤い赤い、眠い眠い。影薄く生きてきたのに大人気になってしまった。ハカシタ!!

初 TOEIC も受けました。聞こえない、聞こえない、こいつら何が言いたいんだ？なんか点数低いと、みたいな脅しもあったりしましたが、そんな時期もありました。なんせ確率の限界を越えた人が何人かいたからなあ、いや、すごいもんでした。流石にそれは……。という人いたしね。

研修はそんな感じでした。意味があるのかないのか、意味があったとしたら、同期間の連帯が(部分的に)強くなった。仮想敵はじ……。です。

そんな堅い話は置いて、休日には色々なところに行きました。製造実習が関西だったのをいいことに(いいことだったのかは疑問ですが) 大阪、神戸、有馬温泉、四国、姫路、広島など突撃旅行を敢行していました。宿はネカフェに移動手段はバス！と思いきやたまに新幹線と何か微妙におかしい旅でした。残念ながら、旅は一人で無茶する派なので、面白いことはないです。1日10km位歩いていて程度です。でも、痩せません。歩きじゃダメなのか！歩きじゃ！飯もそんなに食べてないのに！

取り乱しました。

● 新社会人部署面談編

研修が終わると配属です。面談（研修中にありましたが）受けて配属が決まるのですが、畏だらけ、そもそも意味がない。希望を書かせることがそもそも欺瞞。面接開口一番明かされる事実。驚愕の展開。挽回の機会は、無。勇者たちが部屋から出てくるころには死に体。あれはひどかった。研究分野にいきたい（製造と営業ヤダ）と言いまくと、凝り固まっちゃダメだよ、と。いやいや、そこで妥協するとそっち行きでしょ、あなた！！的なハートフルな話を繰り出す繰り出す。人によっては面談開始と同時に希望に一切記載されてない部署押されるし、てか相手の話全無視らしいし、ヤバいから。で、その結果としてサプライズ人事が発動する訳ですよ。まあ、新人から見ればただのババ抜き、予想外の展開も所詮ババがその人にとってしまっただけ。プラスの展開はほとんど皆無。そしてみんなが部署へ散っていくことになりました。でも、それも序章に過ぎなかった・・・。

部署に就くと、また面談です。デジャブ？それとも初期化？また、行きたいとこの理由や自分のセールスポイント考えるんですか？そうですか？なんか予想外のトークさせられるし、地方は行きたくないんですよ。ここまで来てそれは、という感じです。面談を幾度か繰り返し、所属部署が絞られる。絞られた末に就いた先が「atsugi」、そう「atsugi」、大事なので2回書いてみました。予想外、ホント予想外、研究死亡が、開発ヘナニガアツタンダロウネー。そしてOJTへ

● 新社会人部署所属編

所属先の人にはホントにいい人たちですよ。いい人なんです。でも、平均年齢が高い、高齢化の波がこんなところにも、てな位に高い。同期が一人一緒なことがホントに救いです。一人無理！しかも、OJTと言っても色々、なんていうか、居場所がない。てか、新しい部署らしく、体制が整っていない。なのに、高齢化、ミステリアス過ぎる。一応、研究開発部門の部署なので、自主的に色々するのOKで感じですが、てかしろ！位の空気がありました。しかし、必要なこととか、諸々がわからないのでうまく動けない。聞いて、て言われても聞きにくい。ホント困った。最初のほうはホント空気ですよ。いるだけ。泥棒と揶揄されている気がしたりしなかったり。このとき痛感しました。研修イミねえ————！！実務に必要な知識が圧倒的に不足している、教育で補えるはずの部分ですら。何で知らないの、とか言われても、必要な知識は端折られて、どこでもいい部分が強調されてたよ。

まあ、最初はそんな感じでした。で、部署の体制が整ってくると、仕事が降ってくる降ってくる。同期の中では少なめなんですけど、異分野ヤバい。知識足らないし、それで怒られてしまうし、ハートが痛い。もう毎日が怒られるのではないかとビクビクです。そんな今日この頃ですねえ。

● おまけ・仕事以外編

なんといいますか、締切が近すぎてロクな推敲もできてないんですが、余った部分に埋め草をば。

そんな感じで新社会人として大過なく腐っていったんですが、仕事時間以外はもうダメ人間街道まっしぐらです。大学院時代変わりません。ゲームしたり、OBなのに研究室に遊びにいきまくり、旅行したり、勢い？で新しいノートPC買って微妙~とか叫んだり、とうとうフットサルチームに参加してみたり、色々です。しかし後ろ向き。

基本引きこもりニート予備軍なので、他人が怖い怖い。外とかマジで怖いんですよ。超小心者ですから。なんについてもビクビクです。まあ、そんなこと言ってられなくなっちはいるんですがね。

とにかく、言いたいことは、

会社やめたい

海外には行きたくない

大歩危小歩危見に行く

会社やめたい

美味しい日本酒探す

阿蘇山見に行く

会社やめたい

アンコウ鍋食べる

京都寺巡り

会社やめたい

てことです。オオゴトなので複数回書いてみました。やめれるんならもうやめてるけどねえ~。
今後、仕事が楽しくなりますように・・・。

お目汚しの拙文どうもすみませんでした。

つばめ会 平成 20 年度活動報告

つばめ会 幹事長
田中 淳一（23 期）

昨年の総会～今年の総会におけるつばめ会の活動内容について、報告いたします。

- 2007/11 総会開催、幹事交代（会長、事務局長以外）
- 2007/11 つばめ会会報 21 号発行
- 2007/11 ミドルセレ差し入れ
- 2007/12 インカレ広告提出
- 2008/3 インカレ差し入れ
- 2008/5 小山氏（27 期）ユニバーシアード支援金募集活動
- 2008/5 事務局長交代
- 2008/5 M1 説明会開催
- 2008/5 つばめ会会報 23 号発行
- 2008/6 小山氏（27 期）ユニバーシアード支援金受け渡し
- 2008/6 ロングセレ差し入れ
- 2008/10 OLT 杯 新人賞賞品提供
（MF1 位、WF1 位にラップ時計、MF2 位にオリエンテーリングマガジン年間購読権）
- 2008/10 インカレロング広告提出
- 2008/10,11 総会案内（メーリス）
- 2008/11 インカレロング差し入れ
- 2008/11 総会開催（予定）

このような活動を行って欲しいなど、つばめ会会員の皆様からのご意見、お待ちしております。

ML・ホームページについて

➤ つばめ会ML (メーリングリスト)

つばめ会会員間の連絡手段の1つとして立ち上げています。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告などお気軽に使ってください。メールアドレスは tsubame@yahoogroups.jp となります。ご不明な点がございましたら、管理者 (tsubame-owner@yahoogroups.jp) までご連絡ください。また、このML に関するホームページ (登録メンバーのみ) にて過去ログなどを閲覧することもできます。 <http://groups.yahoo.co.jp/group/tsubame/> までアクセスしてください。

また、つばめ会および東工大OLTのホームページが稼働中です。ぜひご覧ください。

➤ つばめ会のホームページ 管理人：北村伸介 (25期)

<http://www.geocities.co.jp/Athlete/4476/>

➤ 東工大OLT のホームページ 管理人：島田裕司 (28期)

<http://www.geocities.co.jp/titech/OLT/>

スパム対策として、メールアドレスは全て画像になっています。ご了承ください。

インカレロング応援広告

11月に愛知県新城市で開催されました、インカレロングの応援広告を掲載します。(本広告は大会プログラムに掲載されました)

がんばれっ！ 東京工業大学OLT



16期 奥田隆史

インカレスプリントと違って？こちらではおも「東工大OLTの10B」
として応援できますので、OLTの皆さんの活躍を期待しています。

19期 円井基史

どうすれば本番で「良いパフォーマンス」を出せるか考えてみてください。
レース中よりもレース前にやることは多くあるはずです。

25期 岡英樹

いつも通り練習していれば大丈夫。
でももし森で迷ったら深呼吸をしてみましょう。

23期 田中淳一
知的に頑張れ！

26期 松井弘毅

インカレモデルが終わった夜に、君たちが誓った
言葉を覚えています。OLTの本気を見せてください。

27期 小山温史

自分が遅いとか負けそうとかしようもないことは考えるな。
みんな自分が思ってる程遅くないぞ。自信をもってやってこい。

27期 村上一輝

高野:俺が対策機の設定でコーチングしたから通過できたに違いない。この調子で頑張れ。
斎田:終わったらイメージゲームやるから、たまには良いイメージを持たれるような
レースをしよう。

武藤:真夏のビックサイトに比べれば、秋のロングなんて楽に乗り切れるはず。
柴本:今度のムゲンマインはなんと7体合体のムゲンがバリエーションらしいぞ。
しかもロイダーが搭乗可能！今から買ってこる！

オレが本番のオリエンテーリングのやり方を教えてやる by:ハネ・クラウドII 世

編集後記

まずは、原稿を書いてくださった皆さんありがとうございました。また、今号の作成に当たっては田中さんをはじめ、お手数おかけしたことに申し訳ありませんでした。無事発行に至ってホッとしております。

というのも、現在研修中で寮（横須賀）に住んでいるのですが、インターネットを使用できる環境にないのです。申し込めば使えるようになると思いますが、当初は7、8月の工場実習でのみ住む予定、まあ無くて大丈夫だろうと思っていました。しかし工場実習終了後に別の研修で2か月延長、そして11月からはさらに別の研修、再延長で住み続けることに…。いつの間にか5か月が経ってしまいましたよ！このような状況ではメールをチェックすることも容易ではないため、原稿受け取りに苦労した次第です。

さて、前回の発行からあっという間に半年、世の中の状況はガラッと変わり不景気突入が避けられない状況になったようです。私の会社も例に漏れず、というか打撃を最も被るであろう自動車産業、利益は吹っ飛び最近では減産に派遣切り、新聞紙面を毎日のように賑わしているわけで。現在は工場生産課での研修ですが、フロア内の人たちの表情が冴えないのは気のせいでしょうかね。

まあ、社会人一年目にこのような厳しい環境に身を置くことができるのは、考え方によっては良いのかもしれないですけど。数年後に生かすためにも勉強する良い機会と捉えて、これからも頑張っていきますかね。

次回のSlopeは来年5月の発行予定です。今回は編集に力をかけることができませんでしたが、年末には寮生活を終え快適なネット環境も復活、充実した内容にする予定なので楽しみに。

...そろそろホームページも更新しないと orz

追記：つばめ会総会から1ヶ月、早く発行しないとなあと思っていたらいつの間にか大晦日。月日が経過するのはあっという間ですね…。

東工大オリエンティング部 OB/OG 会「つばめ会」会報 “Slope” 24 号

発行責任者：田中 淳一

編集責任者：北村 伸介 (shinkit@muse.dti.ne.jp)

発行年月日：2008/12/31